

温室効果ガス排出量検証報告書

株式会社 JECC 御中

1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、株式会社 JECC が作成した「GHG 排出量算定報告書(2022 年度)」(以下、「算定報告書」という。)に記載された 2022 年度の温室効果ガス(GHG)排出量が、同社により作成された「GHG 排出量算定ルール Ver.3」(以下、「算定ルール」という。)に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。

検証の目的は、算定報告書の 2022 年度(2022 年 4 月 1 日~2023 年 3 月 31 日)の温室効果ガス排出量を客観的に評価し、同社の温室効果ガス排出量の算定の信頼性をより高めることにある。

2. 実施した検証の概要

当機構は、「ISO14064-3」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲は Scope1、Scope2 のエネルギー起源 CO₂ 排出量であり、保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は検証対象の総排出量の 5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲は本社(株式会社ジェックビジネス、ジェックシステム開発株式会社を含む)及び国内 7 支店を対象とした。

検証においては、サンプリングにより株式会社 JECC 北海道支店、関西支店の 2 拠点を現地検証の対象とし、各拠点における算定対象範囲の確認、エネルギー使用量監視点の確認、算定・集計体制の確認、活動量データについて根拠資料との突き合わせを行った。なお、現地検証に先立ち、株式会社 JECC 本社において算定ルールと算定・集計体制の確認を行った。

3. 検証の結論

検証の対象とした、算定報告書の温室効果ガス排出量において、算定ルールに準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

算定報告書の作成責任は株式会社 JECC にあり、温室効果ガス排出量検証の結論に関する責任は当機構にある。株式会社 JECC と当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目 25 番地

一般財団法人日本品質保証機構

理事 浅田 純 男

